

# 魅力再発見

# 日本犬を訪ねて

国の天然記念物に指定されている日本犬は、6犬種。交雑が進んだり、戦争のために激減したりと、過去、

たびたび存亡の危機にさらされてきた。

現在は徐々に頭数も増え、本来の姿が取り戻されつつあるものの、柴犬以外は希少犬種で、その実態もあまり知られていない。

今回は、日本犬に造詣の深い

ノンフィクション作家・吉田悦子さんと、

日本犬を愛してやまない飼い主の方々と、

その歴史や魅力について伺った。



## 日本犬とそのルーツ

日本犬は、古来、人間とともに大陸から渡ってきた犬が、日本列島の各地域に住みつき、定着した犬のことです。

現在、国の天然記念物に指定されているのは6犬種。小型の柴犬、小型と中型の間の甲斐犬、中型の紀州犬・四国犬・北海道犬、大型の秋田犬がよく知られています。

その他にも、越の犬・津軽犬、高安犬、薩摩犬など多くの犬がいましたが、そのほとんどは絶滅の道をたどりました。

日本犬は、立ち耳、差尾で、三角形の目が特徴です。性格は素直で穏やかですが、高い狩猟能力を持ち、瞬時の判断力と俊敏な動きで獲物を追い立てます。

日本犬の、犬の原型ともいえる体型と性質の素朴さは、欧米でも高く評価されています。